

要請文

謹啓

貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

不法就労等の外国人労働者問題につきましては、平素からひとかたならぬご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年からの我が国の外国人情勢については、新型コロナウイルス感染症の影響により来日外国人等が激減するなど、その状況は大きく変化しました。

一方、国内の不法残留者数については、同感染症の影響下にあったにも関わらず、8万2,868人（令和3年1月1日現在）に及ぶなど、前年とほぼ横ばいの状態にあり、不法入国者、不法上陸者を合わせるとそれ以上の不法滞在外国人がいると予想されます。

これら不法滞在外国人は、我が国の労働市場に悪影響を与えるだけでなく、様々な分野にわたって深刻な問題を惹起していることから、その対応は喫緊の課題となっています。

また、昨今の不法就労又は不法滞在外国人については、日本国内で稼働等するため、偽造在留カードや偽造パスポート等を利用し、又は難民制度を悪用するなど、その手口はさらに悪質・巧妙化している状況にあります。

既にご承知のとおり、不法就労となる外国人を雇用（アルバイトを含む。以下同じ。）した場合、その事業主についても出入国管理及び難民認定法の規定により処罰の対象とされていることから、このような事態を防ぎ、外国人の不法就労を防ぐためにも、外国人を雇用する場合には確実にその者の在留カード及びパスポートを見て、在留資格や在留期間、資格外活動許可の有無等を確認するだけでなく、出入国在留管理庁が運用する「失効情報照会サイト」、「在留カード等読取アプリケーション」の活用などによる確認を徹底していただくとともに、不明又は不審な点については関係機関に確認を行うようお願いいたします。

つきましては、これらの諸問題についてご理解いただきますとともに、貴団体に所属する事業主の皆様へ、外国人の不法就労の防止について、注意喚起していただきますようお願い申し上げます。

敬 具

経済団体の長 殿

令和3年7月

福岡出入国在留管理局
福岡労働局
九州管区警察局
福岡県警察本部